

# 名古屋大須ロータリークラブ

## WEEKLY REPORT No. 1246

<本年度会長方針>

### リノベーション renovation

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

### 第1459回例会

識字率向上月間

平成26年3月20日(木)

クラブフォーラム

於名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 61名

54名中41名出席

出席率 85・19%

前及前回出席率 92・86%

前及前回出席率 92・86%

### 例会プログラム

★表彰状・バッジの進呈

・R財団ホールハリス・フエロー

★バナー披露

★クラブフォーラム

### ロータリーソング

「我等の生業」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

### ゲスト

元派遣青少年交換学生

渡辺 彩加さん

### ニコボックス

今日はクラブフォーラムです。活

発な御意見をお願いします。

木村 光徳

岡部さん 集議席列座おめでとう

ございます。

渡辺 観永

昨夜、小澤征爾指揮 オペラ「フィ

ガロの結婚」に行ってきました。

尾上さんのおかげで素晴らしい感

動を頂きました。

吉田 隆彦

吉田明夫さん先日はありがとうございました

ございました。昨日2件契約決ま  
りました。でも予算ギリギリ  
春口井和良  
本日のクラブフォーラムよろしく  
お願いします。 岡村 隆徳  
春になりました。春日井さんお世  
話になります。 田崎 雅三  
彩加ちゃんご入学おめでとう。い  
よいよ大学生ですね。前田 隆久

### 会長挨拶

会長 木村 光徳

それまで何故か縁が無かった中  
国に、中国好きなお客さんに誘わ  
れ今から5年前、上海万博の前の  
年に訪問しました。日程も2泊3  
日と短い旅でしたが、現地駐在の  
日本人商社員のガイドで運転手付  
きの車で上海の  
観光スポットを  
廻るといふ旅の  
為、大好きな街  
歩きも殆んど出  
来ず、断片的な  
感想になってし  
まうと思います  
ので、何回か中  
国へ行つた事の  
ある方とはかな  
り違つ事もある  
と思います。  
上海について  
まず驚いた事は、  
聞きしに勝る空



気の悪さです。  
鼻のアレルギ  
ー持ちの為、  
空港からホテ  
ルへ向かう車  
の中で鼻水が  
止まらなくな  
り、滞在中ず  
っと抗アレルギー  
剤を服用  
してました。上海では1年中で  
青空の見える日は数える程だとの  
事です。ただ街は思っていたより  
も汚くはなく、臭いも殆んど苦に  
なる事はありませんでした。

中華料理も得意ではなくワクワ  
ク感の無い旅でしたが、宿泊した  
ホテルと新天地というエリアは、  
私の中国のイメージからは懸け離  
れ、素晴らしいものでした。ホテ  
ルは虹橋迎賓館という広大な庭を  
掘で区切って、その中に3〜4階  
建の宿泊棟が点在するスタイルで  
2ヶ所の門には24時間守衛が4〜  
5人配備され、ホテルスタッフも  
全員にこやかでサービスも良く、  
又フロントには品の良い日本人女  
性スタッフも配置され、レーガン  
元大統領や中曽根元首相が滞在し  
た写真が飾ってありました。  
街の中では旧フランス租界を再  
開発した新天地というエリアの街  
並や雰囲気も40〜50年前の原宿  
に酷似し、学生時代にタイムスリ  
ップする事が出来ました。次の機

### クラブフォーラム

「ロータリークラブにおける

職業奉仕委員長 春日井和良

皆さんこんにちは、職業奉仕委

員長の春日井です。今日は貴重な

クラブフォーラムの中で時間を頂

き、そんな中で話をさせて頂くと

いっことで大変緊張しております。

今回、職業奉仕アンケートのお

願いにも書きましたが、委員会の

活動として肝心の職業奉仕の理念

を活かした活動が全くできず、反

省、申し訳なく思っております。

職業奉仕が何たるか、どう活動に

活かしていけばと考えると、どん

どん迷路にはまっていってしまう

と思います。今日は、皆様と職業奉

仕について考えてみたいと思います。

昨年10月にお話しさせて頂いた分

と重複するかと思いますが、よろ

しくお願い致します。

お願いをしましたアンケートに



じきもつては29名の方々から回答を頂きました。有難うございました。アンケートの設問が適当ではない部分もあったかと思いますが、集計をしてみてもうかがえますが、職業奉仕の何たるかを認識してもらいたいなご感想でした。でも、社会奉仕との違いについては「わかる」と明確に回答された方が半数以下です。自信を持って違いを言える方が少ないのかなとも思いました。

ロータリーの金看板、根幹本質であると言われる職業奉仕を語るに、やはりロータリーの歴史、発展の過程を論じないといけません。なお、今日の話の中身はいろいろな資料から引用していますので、それもご承知下さい。

まず、創立時は親睦のみが目的のクラブだったこと。当時のアメリカは富欲な資本家が幅を利かすというか、儲かれば何でもOK、騙すもの騙されるものが無いといった、殺伐とした時代だったようにです。同業者は当然ライバルですから、一業種一人で各経営者が集まれば、互いを許して話さなくてもいい。それが、相互扶助互恵取引が行なわれる様になり、商売繁盛に繋がった訳です。

しかし、そんなクラブの有りに批判があつて、ホール・ハリスが世のためになることをしようと目覚めたわけです。でも、その方針転換はクラブのおかげで商売が

繁盛していた連中の反対もあり、スムーズには行かなかつたようにです。余談ですが、ライオンズの創始者メルジョン・シヨーンズも当時のシカゴにあるビジネススクールに所属していたそうです。当時のアメリカはこんな閉鎖的な物質的互恵主義の組織がたかさんあつて、それが世間の批判を浴びたり、内部反発もあつたりして、どんどん消滅していったようです。

そんな時、登場したのがシエルドンです。ビジネススクールを経営し、独自の経営哲学を教えていた人物です。事業の繁栄、永続は顧客や関係者への思いやりが必要で、程々の利益よりいかに欲張つては駄目だと。具体的には次のようなサービスが必要で、これを総合した概念を「Service」と定義したのであります。

ホール・ハリスが方針転換で目指した奉仕の理念をシエルドンが独自の経営哲学で理論づけていったわけです。一業種一会員制、例会出席の義務についても、その必要性をロータリアンが職業人の集まりで、それぞれが業界の代表者で、例会で職業を通じて社会に貢献・奉仕することの必要性を学び、それを持って業界をより良く変えて行くロータリーである、と謳ったのです。そして、そのサービス学に道徳的観念取り入れ奉仕理念が標語として採択されました。

「He profits most who serves best」「最もよく奉仕した人が最も多く報いられる」続けて一般奉仕理論として「Service above self」「超我の奉仕」が発表され、採択されました。

### He profits most who serves best

「最も多く報いられる」続けて一般奉仕理論として「Service above self」「超我の奉仕」が発表され、採択されました。

この辺りまでが、ロータリーの発足から奉仕の概念が生まれる、ロータリー思想の基礎が固まるまでの歴史です。10年足らずの間にロータリーがこれだけの発展を遂げたことは素晴らしいことであると思いますし、この歴史はロータリー人としてロータリーの奉仕の原点であるので是非押さえておかなければならないと思います。

ロータリーの職業奉仕の原点はお話させて頂きましたので次にロータリアンとしてそれをどう展開、実践すべきなのか、考えていきたいと思ひます。職業奉仕の定義として、まずこの「職業奉仕」という言葉が、他の奉仕と違いその対象は特にならぬという点。職業と奉仕と結び付けた一般的な熟語として考えない誤解が生じるので、ロータリー独自の専門用語で解釈することが重要です。

自己の事業を営む手段が先程のシエルドンのサービス学に沿ったものであること。儲け主義ではなく、顧客、関係者に配慮した経営手法であること。それが結果として廻り廻って自己の繁栄に繋がるということなのです。四つのテストは

その倫理的行動を測るチェック項目としてロータリアンだけでなく一般の人達にも理解しやすいものとして広く使われつつあります。奉仕の理想 (Ideal of Service) は、職業における高い倫理性を維持すること、他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと、超我の奉仕、また、始めに親睦、そこから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に成長し、それが広がって国際奉仕になったもので、ロータリーを一本の樹に例えらるなら、職業奉仕が大きな幹で、そこからの枝葉が他の4大奉仕であり、実がロータリー財団ということになるでしょう。



ロータリーの職業奉仕は倫理運動であること。ロータリーは職業奉仕を通じて、奉仕活動を行ないながらお互いの倫理観を高めようとす運動を行う団体であり、その根幹は《愛》であり思いやりの心です。社会奉仕の受益者は他人で

すが、職業奉仕の受益者はロータリアンです。「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」ということです。この奉仕は職業奉仕：自己の事業の顧客、関係者、社員等に対して思いやり、配慮して、適正な利潤をあげることによる経営手法・手段のことです。

もう一つ、職業奉仕が解のつらいつ言われる原因の一つは、社会奉仕との違いが解のつらいつ言があまりです。そして、例会に出席することが職業奉仕のまず、第一歩であること。例で、職業について話さず、意見を言ひ、自己研鑽をする場所であることを理解してください。

職業奉仕が何たるか、理解して頂けましたでしょうか。職業に関係する話題、卓話が多くなれば、友人を例会に誘いやすくなるかと思ひます。社会奉仕、国際奉仕など外向けのボランティア活動は目立ってよいかも知れませんが、これも職業奉仕に対して、ロータリアンの意識が薄くなっているように思えます。ライオンズ、キワニスと違ってロータリーはこの職業奉仕という大きな特色があります。この特色をどのように活かしていくかが今後のロータリー、我がクラブにおいての大きな課題だと思ひます。

最後に、地区の職業奉仕委員長が職業奉仕について、次のように

警鐘をならびています。

「職業奉仕はロータリーの活動の根幹として歩んできた考え方(理想・理念)であるが、今ローは職業奉仕の解釈を変えつつある、職業奉仕をいつまでも歴史的な解釈で金科玉条のごとくとらえず、その成り立ちを踏まえて今後のロータリーの活動に活かすことを考えていかないと、職業奉仕はいずれ国際ロータリーの活動の中で、安楽死を迎えるかもしれない。」

皆さんはどう思われますか? ごも、清聴有難うございました。

ポール・ハリス・フェロー表彰

岡部快圓PGより、表彰状・記念品などが手渡されました。



(写真右から)

大源 俊博さん 田崎 雅三さん 岡部 快圓さん 前田 隆久さん 岩崎 征一さん 吉田 憲一さん

- ・ 岩崎 征一さん / 2回目
- ・ 前田 隆久さん / 2回目
- ・ 吉田 憲一さん / 1回目
- ・ 田崎 雅三さん / 1回目
- ・ 大源 俊博さん / 1回目

バナー披露

元派遣書生 年交換学生 インターアクト 渡辺 彩加 気仙沼市 第2520 地区



会員専話(3月13日例会)

「ものづくり技術」か?

企業利益を得るには

県内中小企業の目指すべき

技術分野とその保護

会員 飯田 昭夫さん

最近、気になることの1つに、日本の技術力低下といつか「ものづくり企業」が利益を得るためのツールとしての知的財産の保護活用の低下があります。

我が国の2012年の特許出願件数が34.3万件であるのに対し、米国54.3万件、中国の5.3万件、韓国18.5万件です。注目すべきは中国で、昨年度は8

2.5万件で日本の34.2万件と大きく差を広げています。中国の技術には模倣が多いのも現実ですが、出願件数が多ければ当然優れた技術も出現することは、我が国の昭和50年頃を想像すれば理解し頂けると思います。

特許出願すると全て公開しなければならぬという日本人の考え方は間違っています。日本人の欠点は「秘密保護」に対する批判が多すぎることです。特許は公開が当分の前です。しかしながら、欧米諸国や中国では、国にとって必要な技術、特に軍事に関する技術は国外持ち出し禁止、特許出願も秘密とされ外国に出願することもできません。現実には日本系企業が中国で開発した技術も日本(外国)への特許出願が禁止されたというごも伝わっています。技術には秘密にすべきものと特許権という独占権で守るものがあります。そこで、技術のチフリズムが有効なツールとなる理由があります。

愛知県が誇る「ものづくり」技術は、裾野の広い自動車産業、すなわち雇用の拡大を生む産業として雇用拡大は期待できないが高度な技術が必要な宇宙・産業に焦点が当てられています。ここで注意して頂きたいのが愛知県の将来です。エンジンを中心とする自動車の時代は多くの部品を必要とし、多くの中小企業もその力を発揮でき

ていますが、自動車が電気自動車にシフトしていくとエンジン自動車では需要が多かった部品の需要も減り中小企業の倒産、人員整理も目に見えます。但し、電気自動車のみならず、混合水素エンジン自動車も普及できるといふことが、部品点数の大幅減少は避けることができ現在の部品メーカーも生き残れるでしょう。

愛知県の未来は明るい??



1. 自動車産業 → 下請企業が雇用を生む
  - 高性能な多くの部品に依存 → 下請企業の技術力と生産量の必要性
  - △ 部品の共通化 → 部品点数の減少 → 企業数は減少 → 新たな雇用は?
  - X エンジン自動車(HV、混合水素エンジン)か電気自動車(EV)か
2. 宇宙・航空機産業 → 雇用拡大には?
 

素晴らしい最先端技術や匠の世界 → 技術力は誇れるが
3. 医療機械産業 (関西が先端医療特区?)

この問題に対し、中小企業は優れた匠の技術を有するので航空産業にシフトすれば良いという考えもありますが、簡単にできるものではありません。自動車に比較すれば飛行機の製造台数は少ないことから容易に推測できるでしょう。また必要とする技術と生産ラインの安定性も当然求められます。ものづくりの産業が衰退すれば運輸業も当然衰退しますし、サービス業も熾烈な競争になると思い

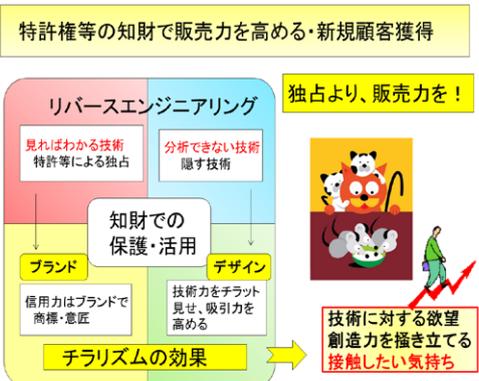
ます。これを避けるには、自動車産業の技術と宇宙・航空産業の優れた技術基盤を有するこの地域の企業が、医療機械産業を目指すことが必要です。愛知県は自動車と宇宙・航空産業があるので先端医療や医療技術産業まで推進する必要はないとの認識は誤りです。中央ではそのように考えていますが、そのようなことを信じてはいけません。愛知県の将来は一握りの自動車技術分野と航空機産業分野の企業に左右されることとなります。

愛知県下の中小企業が目指すべき技術分野は優れた技術力を新たな技術分野、医療機械産業分野で活用するのが適切であると考えます。医療分野のマーケットはますます拡大していきます。

「ごも、今までは異なる技術分野で顧客を獲得し、利益を得るにはごもすれば良いかの話に移るにしています。愛知県の人は、真面目すぎて光を放つことが苦手であることを痛切に感じます。新たな顧客獲得の為に、自分の持っている優れた技術を示す必要があります。かといって自分の技術を全部オープンにするのは、技術を無料で差し上げることになります。重要なので、俗っぽい言い方をすれば、技術のチフリズムを考え

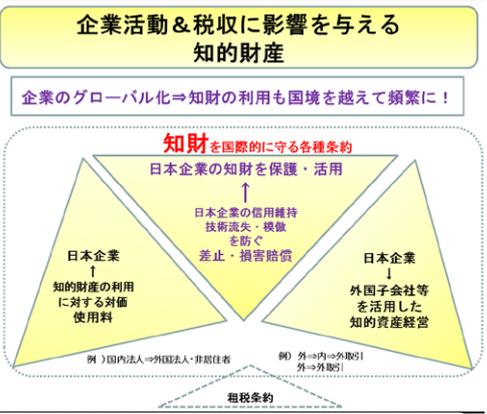
る。①何でも公開するモロリズム（隠すべきところも隠さない）②いかにもいい技術を持っていることをチラチラ見せるチラリズム（隠すべきところは隠すが、いい技術があることを極端に示す製品・加工製品等です）③技術をベールに包ませるカバアップ（カバアップ水着で想像）の戦略を立てることが必要です。モロ出しはすぐ興味を失います。良い戦略では無いし、技術が盗まれます。カバアップもほとんどで有ればチラリズムに共通しますが、全てを隠すと欲望は生まれません。

重要なことは、新たな顧客になる人に「もっと見たい」という欲望を抱かせることです。チラリズムで気を付けなければいけないのは同じように見えるものを他人に作



らせないことです。売れるなど考えた他社が粗悪品を販売すればチラリズムの効果は消滅するからです。チラリズムに必要なのは、技術や商品を売るための「デザイン、ブランドの構築です。「ブランド」は商標ではありません。デザインによるブランド力も重要です。意匠権・商標権といった知的財産権を活用することが必須であります。デザインという「美」を連想するかもしれないかもしれませんが、技術は意匠権で保護される例を、見てください。隠れた所に権利があることがわかります。

余分な話ですが、外国の子会社の利益を日本の本社が吸い上げる方法に関して、一般的には指導料として親会社に支払う方法が多いのですが、最近、親会社に支払う金額が高すぎるという問題視される国が出てきました。また、租税条約に反していると思いますが二重課税も問題もあります。この場合、比較的問題なく親会社が吸い上げることができるのは、知的財産権の使用料「ロイヤリティー」として吸収するやり方です。外国でもものづくりをする場合は、親会社に正当な金額を支払う方法として、知的財産権の取得をお勧め



最後に、ものづくり企業が新たな利益を得るには、新たな顧客に見たいという欲望を抱かせる知的財産を活用したチラリズムが効果的であること、愛知県の今後は医療用機械産業にあることをお伝えして私の卓話を終わります。

4月10日(木) 例会の案内  
例会変更 4月12日(土)  
春の家族旅行  
— 家族親睦懇話会  
OSU山桜フィールド—  
\*集合 芸文センター南側  
午前8時30分

広報委員会  
小澤 幸男・青木 靖高  
飯田 昭夫・杉浦 令淑  
\*本文は、原則、頂いた  
原稿を転載しています。

2014.3.19 E-mail from Mauritania

名古屋大須、地区、そして日本のロータリーの皆さま、事務所の皆さま

お久しぶりです。サワヤナツコです。以前、ロータリーのフェローシップ、補欠となり、ノースキャロライナ大学への入学許可を取得するようにとロータリーから連絡があった旨、お伝えしてあったかと思ひます。昨日、ノースキャロライナ大学の Maternal and Child Health の教授と電話面接をし、本日メールを受け取りました！！！！大学院への入学許可、いただけるみたいです！！！！あとは、フェローシップの奨学生になれることを祈るのみ！！！！

大学のコースとロータリーセンターの勉強が同時並行でできたら、本当に素晴らしいと思ひます！！！！今のところ、どなたかが辞退したとの連絡は来ていないので、補欠のままです。もし、今後平和フェローになれることがわかれば、すぐにスペイン語とアラビア語を勉強に行こうと思ひます。もしなれなければ・・・、大学院が始まるまでの間、日本で仕事を見つけようと思ひます。

早いものでモーリタニアに来て3年がたちました。大使館での仕事もあと2日を残すのみです。来週日本に帰国いたします。モーリタニアをもうすぐ離れるのは悲しい限り！！！！でもまた皆様にお会いできるのは楽しみにしています！！！！！！

引き継ぎや引越し準備で本当に忙しいです。いま、2日に一回寝ればいいような訓練、できないものですかね？？？何はともあれ、ご報告でした！！！！いつも応援、ありがとうございます！！！！！！

澤屋 奈津子